

- 粒状(固体)肥料や液体肥料を灌漑水と一緒に流し込む施肥法である。
- 水田に立ち入らずに施肥できるため、施肥作業の省力化が可能である。降雨時でも施肥できる。
- 従来追肥の省力技術であったが、基肥でも使用可能な液体肥料を開発した。

流し込み施肥の種類と肥料

粒状(固体)肥料		液体肥料	
専用化成	単肥(硫安・尿素・塩加など)・BB	専用肥料	尿素溶液

専用化成「みなくちNK」
(セントラル化成)

専用液肥「おてがるくん」
(片倉コープアグリ)



このような生産者におすすめ！
～流し込み施肥のメリット～

1. 猛暑等によって窒素切れが早い場合に**労力をかけずに真夏の追肥作業**をしたい(施肥の省力化と高温登熟障害の回避)。
2. 天候に左右されない計画的施肥を行いたい。
3. 耕うん・代かきなど、作業が多い時期の**基肥施肥作業を減らしたい**。

基肥で使用可能な液体肥料

専用液肥「おてがるくんスーパー」
(片倉コープアグリ)

硝化抑制材により肥効が長期間持続し、基肥で使用可能

おてがるくんスーパー
流し込み施肥圃場

全面全層施肥圃場
(慣行施肥)

慣行施肥圃場と
同等の生育

